

概要

令和3年9月1日(水)の放課後、チェコ共和国カレル大学の医学部に在学中である本校70回生の藪あゆいさんの講演会に、本校生21名(1年生7名, 2年生11名, 3年生3名)が参加しました。「留学を考えているあなたへ」という演題で約1時間講演をしていただきました。



講演内容

まず、高校時代にバスケット部のキャプテンとして忙しい日々を送っていたことや3年生でアメリカへの留学を決意したことをお話ししていただきました。幼い頃から違う文化の人々に興味があったそうです。そして、英語と医学のどちらも勉強したいと思って海外の大学の受験を決めたことや、受験に向けて自分の利用できるものは全て利用するようにしたことをお話ししていただきました。さらに、大学入学後の学生生活や卒業後の夢などを語っていただきました。他にも留学の制度や奨学金の制度などの説明もしていただきました。その後、一高生からの質問に回答していただきました。

質疑応答

質問「英語について、どのように勉強して自信をつけていきましたか。」

回答「スピーキングは話していないと衰えるので、一人でぶつぶつと話したり家族に話したりしていました。リスニングも自分で発音することを重視し、現地の人たちが話すスピードを意識して取り組んでいました。」

質問「海外の学校生活と日本の学校生活を比べて、日本の学校生活の良いところは何ですか。」

回答「アメリカの高校に留学した時は日本の教育レベルの高さに気づきました。留学先での数学などの授業は日本で習っていたことがほとんどだったので、勉強に困ることはありませんでした。また、チェコの大学に行って、アジアの国々の人々は基本的な計算練習をたくさんしているため、他の地域の国々の人よりも計算力が高いことがわかりました。」

質問「海外では9月から新年度となるので、3月に高校を卒業してから9月に大学に入学するまでに空白の期間がありますが、その期間はどのように過ごすのが良いですか。」

回答「大学に入学して海外で生活していると日本の友達となかなか会えなくなるので、友達と遊んでおくといいと思います。自分はバイトをしていましたがおすすめはしません。」

感想

○海外留学についてあまりよく知らなかったので、留学制度や大学受験について知らなかったことをたくさん知れて良かったです。留学制度を利用した人の感想や詳しい内容を知ることによって、一層関心が高まりました。海外の大学を志望すると決めてからの行動力と、一度始めたことにひたむきに努力する姿勢に感銘を受けました。

留学中、受験期、現在、それぞれで楽しい、嬉しいことや苦しいことがたくさんあって、総合して、海外の生活に触れることは楽しそうだなと思いました。学校での生活や友達との関わり方が日本人と違うのはとても面白そうだし、人生の経験としてとても貴重だと思ったので、外国を視野に入れるのもいいと思いました。(1年)

○私はもともと外国の文化や言語に興味があり、留学を考えていたが、今回の講演会を通して、絶対に留学したいと思うようになった。留学へ行く前に比べ、後の方がTOEICの点数が大幅に上がったと聞いて驚いた。先輩もあまり英語での会話ができない状態で留学したが、3ヶ月後くらいには慣れてきたとおっしゃっていて、私も常に英語を話したり、聞いたりする環境にいたいと思った。

先輩がどのような経緯で留学し、チェコの大学への進学を決めたのかを聞き、「医者になりたい」という目標に向かってどんどん自分から行動していく姿が本当にかっこいいと思った。私ももっと自分の将来について考え、目標を見つけ、それに向かって自分から積極的に行動をおこしていきたい。(2年)

○受験期の話は自分の思っていたものとはかけ離れているやり方で勉強されていたので、とても驚きましたが、一から英単語を覚えたり、教科書を買ったりしている努力に感銘を受けました。「自分が使えるものは何でも使う」という考え方を私も真似して、気になったものは積極的に先生に質問してみようと思いました。

実際の留学の話でのホストファミリーとの不仲、高校での友人づくりの難しさなど現地でしか分からない話をたくさん聞くことができ参考になりました。チェコの観光地や人々の話もとても面白かったです。住む場所についても寮生活と一人暮らしの良し悪しは初めて知り、将来の目安にしようと思いました。大学での勉強は時間感覚や規模など日本との違いを見つけられて興味深かったです。(2年)

○お話を聞いて、先輩の行動力がすごいなと感じたと同時に、先輩の「自分で調べてみて、自分で資料を取り寄せてみて」というアドバイスが印象的だったように、自分から動く力が留学をする上ではすごく大切で必要とされる能力なのだと改めて強く感じました。

また、世界の中での日本の教育レベルに疑問を感じていたので、実際に世界の様々な地域から来た人と学んでみてのお話を聞くことができ、貴重なお話を聞けたと思いました。優劣ではなく、教育の基準の差に過ぎないのではないかと個人的に感じ前向きになれました。いくら高校留学(1年間)に行かれたとは言え、センター後あたりからチェコの大学の対策を始められたことにすごくびっくりしましたし、その努力の量を想像してとても刺激を受けました。「使えるものは使っておけ」という言葉が心に残っていて、私も不安に感じたり、くよくよする暇があったら、ためらわず行動したいと思いました。(3年)



編集後記

実際に留学、海外進学をした先輩のお話はとても貴重で感銘を受けました。また、自らの夢に向かって自分から行動していく先輩の姿はとてもかっこよかったです。刺激的な1時間となりました。